

第60回神奈川県建設業労働災害防止大会のご案内

11月7日（金）横浜市西公会堂において、第60回の神奈川県建設業労働災害防止大会を開催します。
大会の開催内容は下記のとおりです。

～ストップ死亡重大災害！心身を整え、行動前に家族を想おう！～

とき 令和7年11月7日（金）
ところ 横浜市西公会堂
住所：横浜市西区岡野1-6-41
14：00 開場
14：30 開会
表彰式
講演

入場無料

「安全の基本ルールを守る！建設業の明るい未来に向けて」

神奈川労働局 労働基準部長 荒木 治美 氏

「ALL FOR YOU の精神でエラーを未然に防ぐ」

元全日空株式会社（ANA）客室乗務員 吉永 由紀子 氏

17：35 閉会



●最寄の交通機関

横浜駅西口より 徒歩12分
相鉄線「平沼橋駅」より 徒歩8分
バス停「岡野町」より 徒歩4分

●駐車場

車でのご来館は遠慮ください。できる限り、公共交通機関をご利用ください。

主催者からのお願い

入場は無料ですが、参加を希望する方は下記参加申込票に記載の上、**所属する分会事務局へFaxによりお申込みください。**※当日会場でも受け付けます。

第60回神奈川県建設業労働災害防止大会参加申込票

| | | | |
|-------|--|----------|--|
| 事業場名： | | 連絡先電話番号： | |
| 御氏名 | | 御氏名 | |
| 御氏名 | | 御氏名 | |
| 御氏名 | | 御氏名 | |

建災防神奈川支部ニュース

No.589 令和7年10月号

建設業労働災害防止協会 神奈川支部

横浜市中区太田町2-22番地 電話045-201-8456 FAX045-201-7735

URL <https://kensaiboukanagawa.com/>

神奈川労働局との合同パトロールを実施

全国労働衛生週間(10月1日～7日まで)を迎えるに当たり、ずい道建設現場における粉じん障害防止をはじめとする各種労働災害防止対策を推進、徹底する趣旨で、9月18日、神奈川労働局並びに川崎北労働基準監督署と建災防神奈川支部の合同で川崎市宮前区梶ヶ谷で施工中の中央新幹線第一首都圏トンネル新設(梶ヶ谷工区)ほか工事共同企業体の現場のパトロールを実施しました。

神奈川労働局からは児屋野労働局長、赤前主任労働衛生専門官、小野安全専門官、坂間監督官、管轄の川崎北労働基準監督署からは佐藤署長、鈴木安全衛生課長が、神奈川支部からは黒田支部長が参加し、ずい道の安全や環境対策などの取組みを確認しました。



同工事は、リニア中央新幹線にかかる工事で、都市部のトンネルのうち、品川駅から(仮称)神奈川駅までの約37kmにわたる「第一首都圏トンネル」を構築する一環で、梶ヶ谷工区は等々力非常口から東百合丘非常口までの延長約11.8kmのトンネルを構築するものです。

パトロールにあたって、工事概要や概況などの説明を受けた後、施工を担当する前田・三井住友・大日本・アイサワ中央新幹線第一首都圏トンネル新設(梶ヶ谷工区)ほか工事共同企業体の増田統括所長とともに現場内を視察しました。

同現場は、シールド工法で行われ、梶ヶ谷立坑から名古屋、

品川の両方向に向かってトンネルを掘削するため、2機のシールドマシンを使用し、工事区間では急曲線部の構築やシールドマシンの回転、解体、再組立があるため、高度な技術が必要とされます。

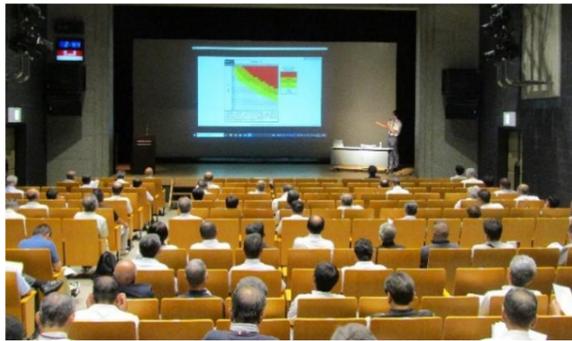
講評に当たって、児屋野局長からは熱中症対策の取組、粉じんに対する環境改善への取組、あるいはスマホによるヒヤリハット事例の収集など、左児屋野局長 右黒田支部長
評価すべき点について述べられ、今の県内の情勢に触れた上で、引き続き粉じん障害防止の継続の要請がありました。

黒田支部長からは、神奈川支部で取組んでいる3つの運動を紹介し、特に会議室に多くの安全行動宣言の掲示がされ、活用されていることに感謝を申し述べ、粉じん対策については今後もこの環境を保ち、建災防で運営する「ずい道等建設労働者健康管理システム」を利用し、作業員一人一人の健康管理意識を高めるよう要請されました。



職長等による安全行動宣言

安全指導者、安全指導員合同研修を開催



8月25日、関内ホール小ホールにおいて、建設業労働災害防止協会神奈川支部安全指導者並びに神奈川県木造家屋建築工事等災害防止協議会安全指導員の令和7年度合同研修が開催されました。

出席者は安全指導者104名、安全指導員13名で合計117名でした。この研修会は毎年実施されているものです。



開講に当たって黒田支部長からは県内の死亡災害が増加傾向にあり、本年も全国ワースト1という危機的状況にあることを踏まえ「自然災害も集中豪雨などで各地で被害が出ていることなど、建設業に従事する者の使命も年々高まる傾向にあるが、いかなる時代にあっても人命尊重の基本理念を忘れてはならない。安全指導者等の熟練者による的確な指導が重要です。」と呼び掛けられました。



講義内容は、神奈川労働局の小野地方安全専門官「建設業における労働災害の現状と防止対策について」と題して、県内の労働災害の発生状況や事例、法改正のポイント、熱中症や化学物質による労働災害防止のための新たな規制について説明がされました。

続いて、(株)大塚製薬工場OS-1事業部の永瀬務氏からは「熱中症の対処について」、神奈川産業保健総合支援センターの新名早苗氏からは「神奈川総合支援センターによる支援事業について」の説明がありました。



建災防本部の土屋安全管理士からは、「建設業労働災害の現状と現場に関する法改正」と題して、墜落転倒災害防止のポイント、パトロール時に見るべきところ、建災防方式の新ヒヤリハット報告、化学物質の管理についての講演がありました。

最後に神奈川県木建協の米田会長から閉講の挨拶として、若者など未熟練者が事故に遭わないよう我々熟練者がしっかり導くよう呼びかけました。



※小野安全専門官の説明の際に、保護具着用管理責任者の選任配置について質疑があり、以下の内容で、後日神奈川労働局健康課から回答をいただいております。

保護具着用管理責任者については化学物質管理者と同様に事業場単位での選任が必須ですが、その職務に「労働者の保護具の適正な使用に関すること」というのがありますので現場単位で選任し、掲示することが望まれます。

一方、化学物質管理者は、店社等の事業場単位で選任することを義務付けたこととされ、例示として、建設工事現場における塗装作業等の作業を行う請負人の場合、一般的に、建設現場での作業は出張先での作業に位置づけられ、そのような出張作業先の建設現場まで化学物質管理者の選任を求める趣旨ではないと示されております。

過労死等防止対策推進シンポジウム

参加無料
事前申込

毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。近年、働きすぎやパワーハラスメント等の労働問題によって多くの方の尊い命が失われ、また心身の健康が損なわれ深刻な社会問題となっています。

本シンポジウムでは有識者や過労死で亡くなられた遺族等にもご登壇をいただき、過労死等の現状や課題、防止対策について考えます。

基調講演

声が職場に与える影響

研究から見る暴言の余波と対応

西村悠貴氏 (独) 労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所

日時

2025年11月10日 (月)

13:30~16:30 (受付13:00)

会場

横浜市技能文化会館

多目的ホール

(横浜市中区警梯町2丁目4番地7)

Webからのお申込みはこちら



建災防事務局だより

最低賃金改正のお知らせ

令和7年10月4日から

時間額 1,225円

神奈川労働局賃金室から最低賃金改正についてのお知らせがありました。

神奈川県最低賃金は、県内の事業場で働く常用・臨時・パート・アルバイト等の雇用形態や

呼称の如何を問わず、すべての労働者とその使用者に適用されます。

◆賃金引上げに活用できる

「業務改善助成金」の活用を◆

「業務改善助成金」は「事業場内で最も低い賃金(事業場内最低賃金)」の引上げを図る中小企業・小規模事業者を支援する助成金です。

神奈川働き方改革推進支援センター

電話 0120-910-090

お問い合わせください。

◆支援施策紹介マニュアル◆

さらに、厚生労働省は中小企業庁と連携し、最低賃金の引上げにより影響を受ける中小企業に対する支援を実施しています!

厚生労働省のインターネットサイトから

「最低賃金・賃金引上げに向けた中小企業・小規模事業者への支援施策紹介マニュアル」(全文または概略版)がダウンロードできます。



神奈川メンタルヘルス・治療と仕事の両立支援セミナー

日時 11月5日(水) 13:30~16:30

場所 神奈川公会堂大ホール

横浜市神奈川区富家町1-3

定員 400名 無料(締切10月22日)

[基調講演]

就業機会と安全配慮、どちらを優先すべきか

神奈川産業保健総合支援センター産業保健相談員

ニシワキ法律事務所弁護士 西脇 巧氏

[特別講演]

本人も職場も困る、脳卒中になったらどうしたら良いの?

聖マリアンナ医科大学 横浜西部病院 脳神経内科部長

脳神経内科学准教授医師 萩原 悠太氏

[参加申込方法]

ホームページからのみ、お申込みのみ受付となります。

※定員に達し次第、申込み

を締め切りとなります。



お詫びと訂正

先月号においてご紹介した神奈川労働局安全衛生表彰式の記事において、厚生労働大臣表彰、優良賞(安全確保)を受賞された事業場として「東急・京急・安藤・間建設共同体」とご紹介しましたが、正しくは「東急・京急・安藤・間建設共同企業体」でした。お詫びして訂正申し上げます。

全国大会期間中の支部事務局

全国大会期間 10月2日~3日は支部事務局は閉所させていただきます。なお、分会事務局についてはホームページをご確認ください。

支部行事予定

全国建設業労働災害防防止大会神戸

時: 10月2日3日

所: ワールド記念ホールほか

編集委員会

時: 10月9日 14:30

所: 建設会館411会議室

正副運営委員長・部会長会議

時: 10月9日 15:00

所: 建設会館411会議室

正副支部長・分会会長会議

時: 10月14日 15:00

所: 建設会館411会議室

運営委員・分会事務局合同会議

時: 10月23日 15:00

所: 建設会館講堂

第60回神奈川県建設業労働災害防止大会

時: 11月7日 14:30

所: 横浜市西公会堂

第2回理事会

時: 12月4日 15:00

所: 建設会館講堂

技能講習部内監査

時: 12月12日 15:30

所: 建設会館専務室

☆建設業における署別労働災害発生状況☆（休業4日以上）

神奈川県労働局 令和7年8月末現在

| 年 | 署 | 横浜南 | 鶴見 | 川崎南 | 川崎北 | 横須賀 | 横浜北 | 平塚 | 藤沢 | 小田原 | 厚木 | 相模原 | 横浜西 | 合計 |
|----|---|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 本年 | | 22 | 11 | 20 | 36 | 18 | 63 | 27 | 34 | 18 | 24 | 27 | 50 | 350 |
| | | | | (2) | | (1) | (1) | | (1) | (2) | (1) | | (2) | (10) |
| 前年 | | 34 | 15 | 34 | 33 | 40 | 47 | 35 | 25 | 22 | 40 | 38 | 51 | 414 |
| | | (1) | | | | (1) | (1) | | | | | | (1) | (4) |

(注) 労働者死傷病報告による、()内は死亡者数である。コロナ感染によるものを除いている。

☆死亡災害発生状況☆

神奈川県労働局 令和7年9月24日現在

| 業種 | 年 | 死亡災害把握数 | | | 死亡災害件数 | | |
|----------|---|--------------|----------------|-----------------|--------|--------|--------|
| | | 本年 (令和7年) | 前年同期 (令和6年) | 前々年同期 (令和5年) | 令和6年 | 令和5年 | 令和4年 |
| 製造業 | | 2 | 6 | 3 (1) | 6 | 4 (1) | 2 |
| 建設業 | | 10 | 10 | 13 (1) | 12 | 16 (1) | 9 (1) |
| 交通運輸業 | | | | | | | |
| 陸上貨物運送事業 | | 5 (3) | 5 (2) | 6 (2) | 6 (2) | 9 (3) | 6 (1) |
| 港湾荷役業 | | 1 | | 1 | | 1 | |
| 商業 | | 2 (2) | 4 (3) | | 4 (3) | | 6 (2) |
| 清掃・と畜業 | | 3 | 1 | 2 | 3 | 3 | 4 |
| その他 | | 6 | 2 (1) | 8 (2) | 4 (1) | 9 (2) | 3 (2) |
| 合計 | | 29 (5) | 28 (6) | 33 (6) | 35 (6) | 42 (7) | 30 (6) |

(注) 死亡災害把握数は、本年のみ欄外表示の日までに把握した死亡災害の件数で、()は、事故の型が「交通事故」であるものを内数で表示しています。

☆死亡災害の概要☆

神奈川県労働局 令和7年9月24日現在

| 番号 | 発生月 発生時刻 | 業種 (請負回数) 事業場規模 年齢 | 起因物 事故の型 | 発生概要 |
|----|-------------|---------------------------------------|-------------------------|--|
| 1 | 2月 9時頃 | 建築工事業 (1次下請) ～9人 40～44歳 | コンベア はさまれ、巻き込まれ | ふ頭内で石炭を出荷する設備の塗装工事のためにコンベヤーカバーの荷卸し作業に従事していた被災者が作業中に行方不明となり、翌日、係留中であつた貨物船の石炭船倉内から発見され、死亡が確認された。 |
| 2 | 3月 14時頃 | その他の建設工事業 (元請) 10～19人 35～39歳 | 建築物、構築物 飛来、落下 | 住宅解体工事現場において、高さ2.4mのコンクリート塀の取り壊しの作業を行うため、手持ち式の電動カッターを用いてコンクリート塀を分割していたところ、塀の上部が倒れ、飛散防止のため近傍でコンパネを持って追従していた被災者が下敷きになり死亡した。 |
| 3 | 3月 15時頃 | 土木工事業 (1次下請) ～9人 35～39歳 | 不整地運搬車 墜落、転落 | 河川改修工事にて、被災者が、不整地運搬車を操作し、土のうを運搬していたところ、護岸脇の通路より河川側の段差（高さ約1メートル）を落下し死亡したものの。 |
| 4 | 4月 12時頃 | 建築工事業 (2次下請) ～9人 45～49歳 | 有害物 有害物との接触 | 共同住宅の原状復旧工事において、浴室（ユニットバス）で有機溶剤を含有する洗浄剤をウエスに取って洗浄する作業をしていた被災者が、有機溶剤中毒になって死亡したものの。 |
| 5 | 4月 10時頃 | 建築工事業 (1次下請) ～9人 50～54歳 | 可燃性のガス 爆発 | 被災者は、1階床スラブのガス溶断作業（アセチレンガス+酸素のボンベを使用）を行ったところ、爆発と思われる現象が生じ、コンクリート床材などが上下周囲に吹き飛び、地下ピットがむき出しの状態となった。被災者は爆発の影響により2階の床とともに地下1階に転落、落下してきた床材に挟まれ死亡したものの。 |
| 6 | 5月 14時頃 | 土木工事業 (元請) ～9人 30～34歳 | 玉掛用具 激突され | 温泉掘削工事現場において、さく井機本体の解体前の工程で、さく井機のやぐらにピン止め固定された鉄板を取り外す作業中、被災者と同僚が鉄板のつりピースに玉掛け、移動式クレーンで地切りして、ピンを抜いたところ、鉄板が被災者側に傾き、激突した。 |
| 7 | 5月 16時頃 | 土木工事業 (元請) ～9人 70～74歳 | トラック 墜落、転落 | ゴルフ場の枯れ木の伐採を終え、使用したドラグ・ショベルを傾斜のある場所でトラック（セーフティローダーダンプ）に積載する際、トラックが逸走して横転し、ドラグ・ショベルの運転席にいた被災者がトラックの荷台からドラグ・ショベルとともに転落し、立木とドラグ・ショベルの間にはさまれ死亡した。 |
| 8 | 7月 14時頃 | 土木工事業 (元請) 10～29人 25～29歳 | 軌道装置 激突され | シールドトンネル内部（発進立坑から約1km地点）において、シールドトンネル先端から発進立坑へ戻る機材運搬車と、発進立坑からシールドトンネル先端へ向かう電動式台車が衝突し、電動式台車を運転していた被災者が負傷し、病院に搬送されたが死亡したものの。 |
| 9 | 7月 13時頃 | 建築工事業 (元請) ～9人 25～29歳 | 屋根、はり、もや、けた、合掌 墜落、転落 | 工場の屋根の交換作業を行っていた被災者がアクリル板（縦1m、横3.7m）の屋根を踏み抜き、工場内に約17m墜落したものの。 |
| 10 | 7月 13時頃 | 土木工事業 ～9人 45～49歳 | トラック 激突され | 傾斜地において、被災者が最大積載荷重3トンのセーフティローダー車の荷台にショベルカーを積込む作業中、荷台を定位置に戻そうと被災者が後輪付近で荷台のスイッチ操作をしたところ、前輪が浮き、輪留めを超えて当該車が逸走したものの。被災者は当該車を止めようとしてハンドルに手をかけたところ、当該車と壁に挟まれ、その衝撃で振り落とされ、後輪に轢かれ死亡したものの。 |

セーフティローダーダンプの重機積載時の事故が増えています！

セーフティローダー型という荷台がスライドするタイプのダンプによる事故が繰り返されています。

今年に入って県内だけで既に2件で、重機に乗って転倒したダンプと共に下敷きになった事業者の方も含めて、3名の方が亡くなっており、令和3年にも1名亡くなっています。

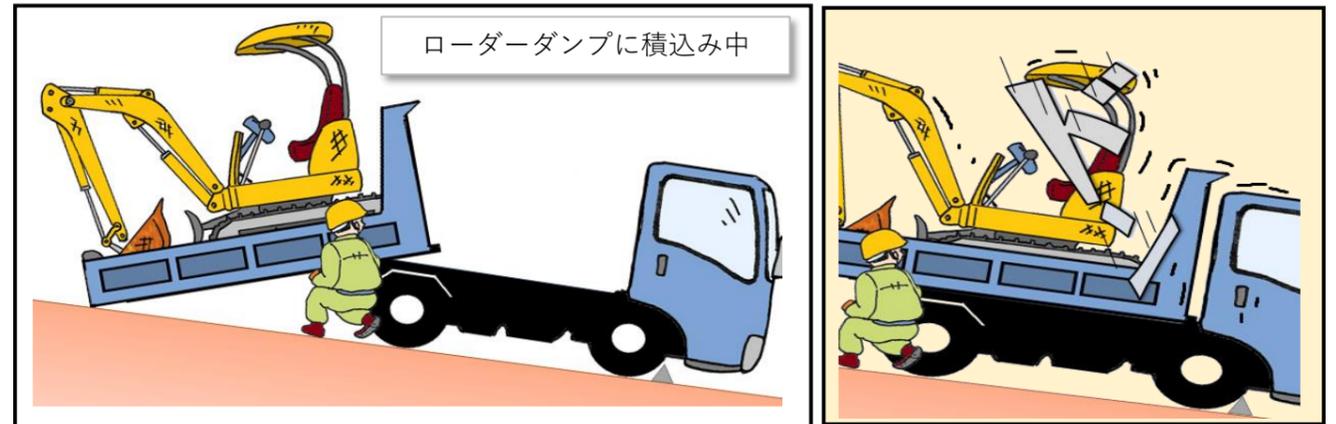
事故の内容は、いずれも傾斜のある場所で重機の積み込み作業を行っていて、操作時の振動などでダンプが輪留めを超えてしまい、車両が逸走しはじめ、あわてて運転席に乗り込んで止めようとして壁にはさまれたり、転倒した車両の下敷きになるような内容です。

メーカーの操作上の注意としても、平坦な場所を確

保して行うように示されていますが、坂道で積み込んだ方が荷台の傾斜が少なくなり、積みやすいとの認識があるためか、同様のケースの事故が後を絶ちません。

操作する場所が荷台の横やりモコンなどで、運転席には誰もいなく、エンジンをかけっぱなしにしなければいけないことや、3トンのダンプに積載荷重すれすれの重機を積むため、積み込み時の荷台の振動が大きいことも要因と思われます。

事前に積載量をよく計算し、必ず平坦な場所で操作するよう注意してください。



積み込みは**平坦な場所**で！
 そうでないときは
運転席に一人配置し
サイドブレーキをしっかりと引き
輪止めも忘れずに！



全国建設業労働災害防止大会in兵庫で表彰される皆様おめでとうございます。

開催期間

現地開催 令和7年10月2日(木)・3日(金)

オンデマンド配信 令和7年10月6日(月)～ ※一部配信なし

本年度の全国大会は、初日は「ワールド記念ホール」、二日目は「神戸国際展示場」にて現地開催するほか、後日、オンデマンド配信を行います。

初日の総合集会では、労働災害防止活動に顕著な功労・功績のあった安全功労者などの表彰、安全の誓いの採択、講演などを、二日目の専門部会では、会員企業などが取り組み、成果をあげた最新の安全衛生管理活動の発表などを行います。

オンデマンド配信のお申込みには、大会参加券(10,000円)が必要となります。

お手元にはない方は、本部または支部で大会参加券をご購入のうえ、お申込みください。

オンデマンド配信の視聴のみご希望の方は、お手数ですが、参加券ご購入後、建災防本部のホームページよりオンライン参加の申込み手続きをお願いします。

安全衛生表彰者名簿(神奈川支部)

優良賞(工事現場)

| 種別 | 事業所・工事現場名 | 分会 |
|---------------|--|-----|
| 優良賞 (工事現場) | 佐藤工業株式会社 ネベル横浜関内新築工事 | 横浜南 |
| | 風越建設株式会社 ヴェレーナグランニ子玉川新築工事 | 横浜南 |
| | 西松・戸田・奥村特定建設工事共同企業体 横浜湘南道路トンネル その3工事 | 横浜北 |
| | フジタ・織戸共同企業体 中原区内都市計画道路苅宿小田中線 (Ⅲ期)道路築造(立体交差化)工事 | 川崎北 |

優良賞(会社)

| 種別 | 事業所名 | 分会 |
|-------------|------------|-----|
| 優良賞 (会社) | 山羽工業株式会社 | 湘南 |
| | 神和道路建設株式会社 | 小田原 |
| | 関東緑地土木株式会社 | 厚木 |

個人

| 種別 | 御氏名 | 事業所名 | 分会 |
|--------------|--------|-----------------|-----|
| 功労賞 | 桐田 吉彦 | 有限会社キリタ | 横須賀 |
| | 増山 博一 | 増山土木株式会社 | 湘南 |
| | 佐藤 哲士 | 匠建設株式会社 | 平塚 |
| | 田代 一男 | 株式会社田代組 | 小田原 |
| 功績賞 (委員) | 松木 洋二 | 若築建設株式会社 | 横浜南 |
| | 安藤 竜一 | 株式会社安藤建設 | 横浜南 |
| | 中条 久永 | 工藤建設株式会社 | 横浜南 |
| | 佐々木 克巳 | 有限会社浜建 | 横浜西 |
| | 廣本 雅司 | JFEエンジニアリング株式会社 | 鶴見 |
| | 柿木 勝美 | 株式会社筒見工務店 | 鶴見 |
| | 北見 江理子 | 株式会社北見建築 | 川崎北 |
| | 勝村 知由 | ユタカ建設株式会社 | 横須賀 |
| | 長橋 正基 | 株式会社小島組 | 厚木 |
| 功績賞 (安推者) | 市村 努 | 有限会社市村塗装 | 相模原 |
| | 田部 克己 | 住宅情報館株式会社 | 相模原 |
| | 飯野 義道 | 明和工業株式会社 | 川崎南 |